

ちょい旅 彩の国

第18回

埼玉県立 川の博物館

荒川を知ると埼玉が見えてくる 川の博物館でたどる“水と暮らし”の物語

秋の気配が深まる 10 月。澄んだ空気の中で屋外展示がいっそう映えるこの季節に訪れたいのが、寄居町にある「埼玉県立 川の博物館」です。荒川をテーマにした全国でも珍しい川の総合ミュージアムとして知られ、子どもから大人まで、楽しみながら川と人の関わりを学べる施設です。

平成 9 年 8 月に「埼玉川の博物館」として開館して以来、荒川の成り立ち、流域の文化、治水の歴史をわかりやすく紹介してきました。私たちの暮らしを支えてきた埼玉の母なる川“荒川”を理解するとともに、環境保護、水循環、河川の浄化といった現代的な課題を体験しながら学べる魅力ある施設です。

荒川は、埼玉県の“背骨”ともいえる大河です。県中央部を大きく蛇行しながら流れ、県土の形成や農業、物流、生活用水など、地域の暮らしを支えてきました。一方で、“暴れ川”としても知られ、古代から現代に至るまで繰り返し氾濫し、県内の生活や産業に大きな影響を与えてきた歴史も併せ持っています。

川の博物館では、荒川の源流から河口までの地域の変化、流域の歴史、洪水との向き合い方などを模型や映像を用いてわかりやすく紹介しています。特に、荒川の氾濫と治水の歴史をまとめた展示は、地域のインフラ整備や行政の取り組みを理解するうえで非常に興味深く、社会科見学だけでなく大人の学び直しにも適した内容となっております。

“川とともに生きる”という視点は、企業活動におけるリスク管理や地域理解にも通じるものがあります。川の博物館は単なる観光施設ではなく、荒川流域の産業・物流・農業、そして治水技術の変遷を学べる“知の拠点”です。

地域に根ざした企業にとって、地形や水の歴史を知ることは、事業継続計画（BCP）や地域連携の観点からも大きな価値を持つと言えるでしょう。

埼玉県立 川の博物館

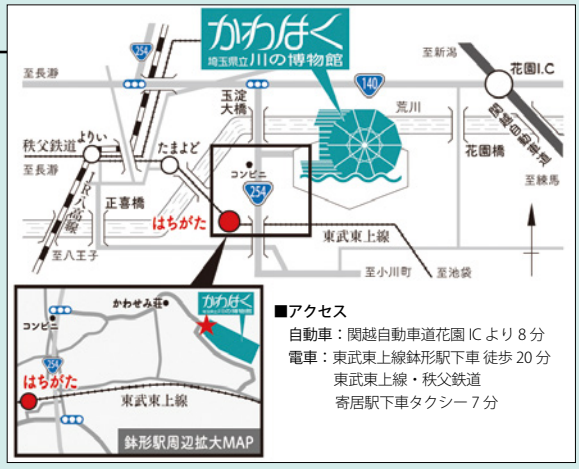
〒 369-1217　埼玉県大里郡寄居町小園 39　☎ 048-581-7333

■休館日：月曜日（祝日・振替休日・県民の日・夏休み期間は開館）
年末年始（12/29 ～ 1/3）
施設整備の集中保守点検に伴う臨時休館有り

■営業時間：通常期　9:00 ～ 17:00 ※入館は閉館 30 分前まで
夏休み期間［平日］9:00 ～ 17:00
［土・日・祝・8/11 ～ 8/15］9:00 ～ 18:00

■入場料：一般 410 円（団体 240 円）　学生 200 円（団体 120 円）
中学生以下無料
※荒川わくわくランドとアドベンチャーシアター観覧は
4 歳以上対象（別料金）

■駐車場：あり（普通車：300 円 バス：1,030 円）



■アクセス
自動車：関越自動車道花園 IC より 8 分
電車：東武東上線鉢形駅下車 徒歩 20 分
東武東上線・秩父鉄道
寄居駅下車タクシー 7 分

施設の見どころ紹介　展示や体験施設が多彩な川の博物館。ここでは、訪れたらぜひ見ておきたい主要スポットを紹介します。



❶ 荒川わくわくランド
水の科学的性質（流力・浮力・圧力・抵抗）や治水、利水を学べるウォーターアスレチック。岩山から流れ落ちる滝を最上流として、流水の力を使った多彩な仕掛けが並びます。

❺ 荒川大模型 173（日本一の地形模型でガリバー体験）
源流（甲武信岳）から河口（東京湾）までの荒川本流を 1/1,000 スケールで再現した日本最大級の精密地形模型。上空から眺めるような視点で、荒川の蛇行や段丘地形が一望でき、荒川のダイナミックな姿を直感的に理解できます。

❻ 大水車
館のシンボルである巨大な水車。直径 24.2m というスケールは圧巻で、近くに立つとその迫力に思わず息をのむほど。水の力を利用した仕組みを間近で観察でき、写真スポットとしても人気です。

❼ 水車小屋広場
県内にかろうじて残っていた水車 2 棟を復元。実際に水の力で動く水車の仕組みを間近で観察できます。
▶皆野のコンニャク水車：昭和 35 年頃までコンニャクのアラコ挽きで使用▶東秩父の精米水車：昭和 20 年頃まで稼働後、花園町の旧家で保存

❷ アドベンチャーシアター
座席が画面に連動して動くバーチャルシアター。かわせみ号に乗って、川面や空から荒川やライン河をスリリングに下る疑似体験ができます。

❸ 本館第 1 展示室
荒川と人々の暮らしをテーマに 2 つのゾーンの屋内展示スペース。南側壁面の大型パノラマスクリーンでは、劇場型展示も楽しめます。

本館の見どころ

❹ 本館第 2 展示室
川に関する文化・自然など、個別テーマの企画展示を開催。訪れるたびに新しい発見があります。

⓫ 荒川情報局
河川や水と暮らしに関する最新情報を提供コーナー。

❽ 渓流観察窓
段丘地形を利用したトンネル脇の水槽で、荒川上流域の渓谷を再現。ヤマメやイワナが泳ぐ姿やエサやりなどが間近で観察できます。

❾ 大陶板画「行く春」
本館外壁に、川合玉堂の筆になる重要文化財「行く春」（六曲一双屏風）を、大陶板画（信楽焼）にして展示。屋外に展示した日本画の大型美術陶板としては、日本一の大きさです。

❿ 噴水広場
リング噴水やピーコック噴水、フォグ噴水など多彩な水の演出が楽しめる広場です。夏季は親水施設として賑わいます。

⓬ レストハウス・レストラン
1 階は飲食可能な休憩スペースで、壁面には「ぶらり荒川道草マップ」が展示されています。 2 階はレストラン「ウォーターミル」があり、大水車を眺めながら食事ができます。